

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

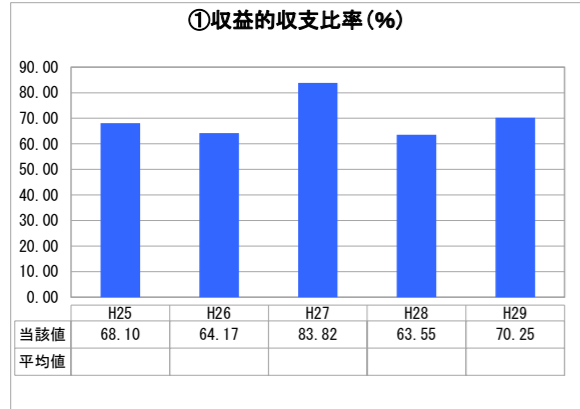
岩手県 野田村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	65.98	93.91	3,240

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,315	80.80	53.40
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,831	0.95	2,980.00

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[ ]	平成29年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



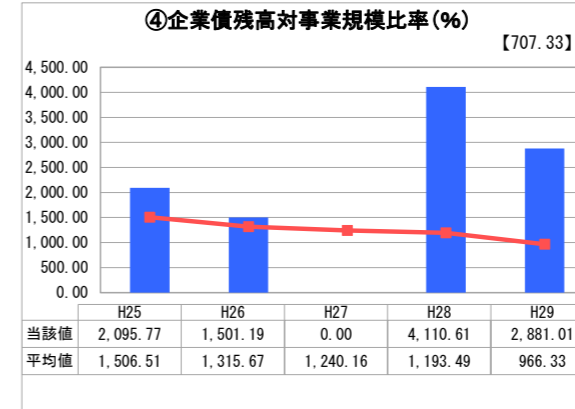
「単年度の収支」



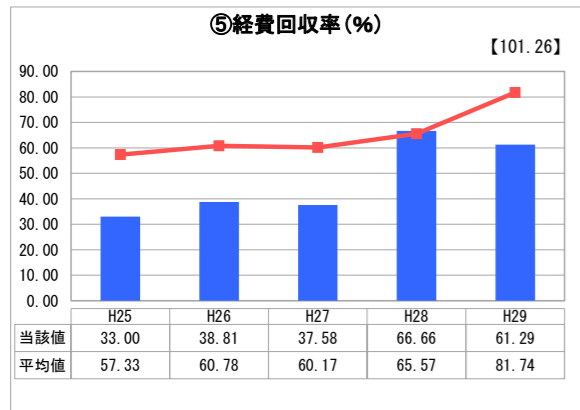
「累積欠損」



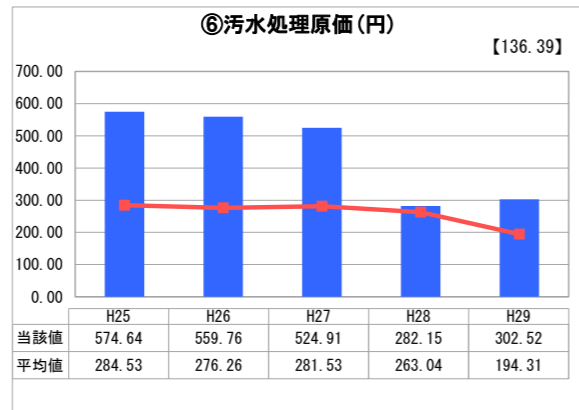
「支払能力」



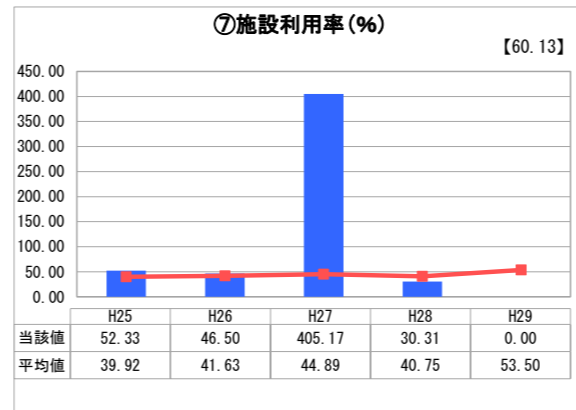
「債務残高」



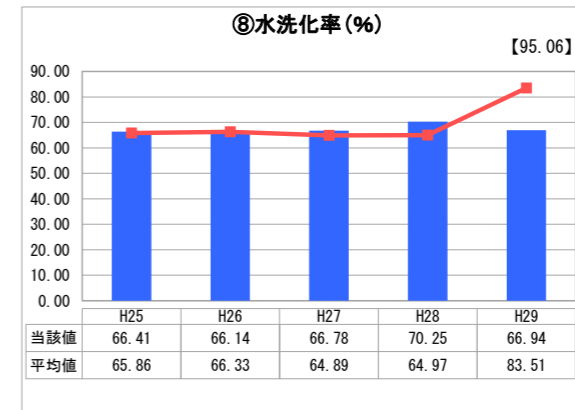
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

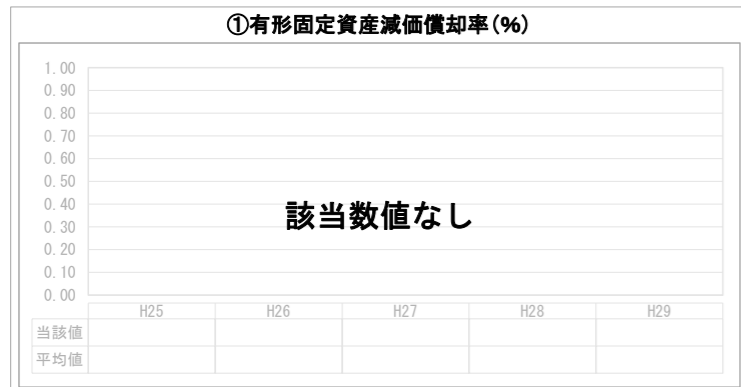


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

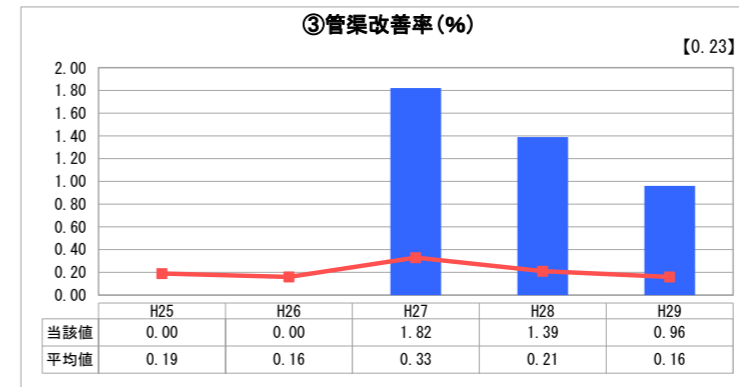
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は、現在も資本整備を継続中であるため地方債償還金が比率の低迷原因と考えられます。企業債残高対策事業規模比率は、新規の企業債の発行により類似団体平均を上回っていますが、資本整備完了後の償還により平準化していくものと考えられます。経費回収率は類似団体平均を下回りました。地方債の償還には一般財源の繰入に依存せざるを得ない状況にありますが、今後も可能な限り経営改善に努めます。汚水処理原価は、類似団体平均を上回ったものの今後より一層の適正化に努めます。水洗化率は、類似団体平均を下回っており、今後も更なる接続推進に努めます。

### 2. 老朽化の状況について

現在供用開始から16年と経年が浅いが、今後老朽化による修繕が見込まれるため、適期の老朽化対策に努めます。

### 全体総括

下水道及び下水道処理施設は水環境を守るのに、今や不可欠な施設です。将来にわたり継続的に維持するために、適正な使用料収入の確保及び汚水処理費の削減に努め、経営の健全化を図ります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。